

第三者損害賠償制度

(賠償責任保険普通保険約款、賠償責任保険追加条項、請負業者

特約条項、生産物特約条項(PL保険)等セット)

第三者(他人)に損害を与えてしまった場合に補償します

日本国内において対象工事の作業中、またはその作業完成後に発生した業務上の偶然な事故に起因して、第三者(他人)の身体に障害を、または財物に損壊を与えたことにより、組合員の皆さまが法律上の賠償責任を負担した場合に被る損害を補償する制度です。

1 加入資格

全日本電気工事業工業組合連合会の会員である各都道府県電気工事(業)工業組合に所属する組合員、ただし資本金3億円以上または従業員300人以上の事業所はご加入できません。別途個別の保険をご用意しておりますので、東芝保険サービスまでお問い合わせください。

2 被保険者(保険の補償を受けられる方)の範囲

- ① 組合員(ご加入者)
- ② 組合員の役員・使用人
組合員の業務に関するかぎりにおいて、補償の対象(被保険者)となります。
- ③ 組合員の下請負人
組合員が請け負った業務の一部または全部を組合員から請け負った方をいいます。(複数段階の請負は含みますが単なる取引先や業務委託先は含まれません。組合員の業務に関するかぎりにおいて、補償の対象(被保険者)となります。)
- ④ 組合員の下請負人の役員・使用人
組合員が請け負った業務の一部または全部を組合員から請け負った方をいいます。(複数段階の請負は含みますが単なる取引先や業務委託先は含まれません。組合員の業務に関するかぎりにおいて、補償の対象(被保険者)となります。)
- ⑤ 工事の発注者
組合員の業務が元請負工事の場合にかぎります。なお、発注者には工事業者を含みません。また「工事の発注者」は作業引渡まで被保険者の範囲に含まれます。組合員の業務に関するかぎりにおいて、補償の対象(被保険者)となります。

3 対象工事の範囲

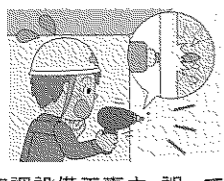


- 1 電気工事
- 2 電気通信工事
- 3 管工事
- 4 消防施設工事
- 5 ①～④までに掲げる工事に伴う専門工事
- 6 ①～⑤の保守業務
(有償・無償に係らず、需要家と契約されているものにかぎります。)

4 保険期間

平成29年4月1日午後4時から平成30年4月1日午後4時までの1年間
中途加入は、申込月の翌月1日午後4時から平成30年4月1日午後4時までとなります。
中途加入の手続きは毎月20日が締切日となっておりますので、締切日を過ぎた場合は翌々月1日午後4時からの補償となります。

5 補償内容

このような事故を補償します。

作業中の事故		作業完成後の事故	
	工事中、誤って工具を落とし、通行人にケガをさせた。		防犯電子ロックの取付作業中、誤って玄関のドアをキズつけてしまった。
	空調設備工事中、誤って壁をキズつけた。		配線工事のため道路掘削中、誤って地下通信線を切った。
			5年前の太陽光発電システム設置工事の際、ボルトの締めが緩かったためすき間ができ、雨漏りが発生した。
			工事に不備があり、引渡後に照明器具が落ち、家財を破損した。 ※作業のやり直し費用に関する損害はお支払いの対象となりません。

6 特長

特長1 全日電工連のスケールメリットをいかしたお手頃な保険料!

特長2 特定財物の損害もカバーします。

〈特定財物とは〉(イ) 動植物、冷凍庫内収容品
(ロ) 貴金属、宝玉、宝石ならびに書画、骨董、彫刻物、その他の美術品
(ハ) 稿本、設計書、図案、雛型、鋳型、木型、ロール金型、金型、紙型、模型、証書、帳簿その他これらに類するもの
(ニ) 地下配電線、地下通信線、水道管、ガス管、その他これらに類する地下埋設物
(ホ) コンピューター(汎用、ミニ、オフィス、マイクロ)およびこれらの関連機器、付属装置、データ、ソフトウェア、プログラムなど
(ヘ) 光ファイバーケーブルおよびこれらの関連機器、付属設備
*「特定財物」と「特定財物以外の財物」の合計のお支払額は「対物賠償保険金額」が上限となります。

特長3 引渡完了日に関係なく補償の対象となります。

この制度は、PL保険がセットされていますので、事故発生日にこの制度に加入していれば、引渡し完了後に工事の不具合が原因で発生した損害についても、補償の対象となりますので安心です。

7 保険料について

保険料は次の要件で決まります。

1 対象工事の年間売上高(消費税込)

平成27年7月1日から平成28年6月30日までに迎えた決算期の対象工事の売上高を申込書にご申告いただけます。事実と相違している場合には、ご契約を解除させていただくことや、保険金をお支払いできないことがあります。

2 保険料の割増制度について

事故により保険金を受け取られた場合、保険料の割増制度が適用されます。今回は平成27年7月1日から平成28年6月30日までに、損保ジャパン日本興亜が保険金をお支払いした方が保険料が割増となります。(金融機関の事情により、着金日が平成28年7月1日以降となった場合も含まれます。)

保険金を1回受け取った 50%割増	保険金を2回以上受け取った 100%割増
-----------------------------	--------------------------------

8 今年度改定について

自己負担額ありコースが廃止となります。ご加入の型が「ZA①-5」「ZF④-5」など、末尾が「-5」の型が廃止となります。自己負担額ありコースにご加入の組合員さまは自己負担額のないコースへ移行いただきます。

9 お支払いする保険金についての注意事項

- ① 誤結線(欠線)・誤接続による損害賠償金は100万円を限度に10%削減して保険金をお支払いします。
- ② 過去1年間に2回以上の事故を起こした場合は損害賠償金を50万円を限度に10%削減して保険金をお支払いします。過去1年間とは、事故発生日からその事故発生日の1年前の応当日までをいいます。
- ③ 過去1年間に2回以上の事故を起こし、その要因が誤結線(欠線)・誤接続であった場合は、損害賠償金を100万円を限度に19%削減して保険金をお支払いします。

10 対人上乗せ補償制度について(第三者損害賠償制度にご加入の組合員さまのみ対象)

「第三者損害賠償制度」の「対人保険金額」以上の補償を発注者から義務付けられる公共工事や個別工事に備え、その不足分を補うための制度です。

加入コース 「対人限度額5億円コース」「対人限度額10億円コース」の2コースとなります。

申込方法 「請負契約書」をご用意のうえ、裏表紙の東芝保険サービス各地区担当窓口へお申込みください。

※上乗せプランは作業完成後の事故につきましては、工事完遂日より2年後の応当日までの補償となります。

年間保険料表

年間売上高(消費税込み)、対人賠償保険金額、対物賠償保険金額(特定財物保険金額)により、下記からお選びください。

年間売上高(消費税込)は平成27年7月1日から平成28年6月30日までに迎えた決算期の対象工事の売上高。(対象工事とは電気工事、電気通信工事、管工事、消防施設工事など3ページ記載のもの) (保険期間1年)

年間売上高 (消費税込み)	保険金額			割増0 (保険金受取りなし)		割増50% 平成27年7月1日 ~平成28年6月30日の間に 保険金受取りあり(1回)		割増100% 平成27年7月1日 ~平成28年6月30日の間に 保険金受取りあり(2回以上)	
	対人賠償保険金額	対物賠償保険金額	特定財物賠償保険金額	加入型	年間保険料	加入型	年間保険料	加入型	年間保険料
5,000万円 未満	1億円	1,000万円	1,000万円	ZA①-0	11,880円	ZAA①-0	17,820円	ZAB①-0	23,760円
		5,000万円	3,000万円	ZA②-0	15,400円	ZAA②-0	23,100円	ZAB②-0	30,810円
		1億円	5,000万円	ZA③-0	18,270円	ZAA③-0	27,390円	ZAB③-0	36,520円
5,000万円以上 1億円未満	3億円	1億円	1億円	ZA④-0	22,220円	ZAA④-0	33,320円	ZAB④-0	44,440円
		3億円	3億円	ZA⑤-0	25,470円	ZAA⑤-0	38,190円	ZAB⑤-0	50,940円
		5億円	5億円	ZB①-0	17,160円	ZBA①-0	25,730円	ZBB①-0	34,320円
1億円以上 1.5億円未満	1億円	1,000万円	1,000万円	ZB②-0	22,430円	ZBA②-0	33,660円	ZBB②-0	44,890円
		5,000万円	3,000万円	ZB③-0	26,080円	ZBA③-0	39,120円	ZBB③-0	52,130円
		1億円	5,000万円	ZB④-0	32,000円	ZBA④-0	48,020円	ZBB④-0	64,020円
1.5億円以上 2億円未満	3億円	3億円	1億円	ZB⑤-0	36,670円	ZBA⑤-0	55,030円	ZBB⑤-0	73,360円
		5億円	5億円	ZC①-0	45,470円	ZCA①-0	68,200円	ZCB①-0	90,950円
		1億円	1,000万円	ZC②-0	59,470円	ZCA②-0	89,200円	ZCB②-0	118,940円
2億円以上 3億円未満	1億円	1,000万円	1,000万円	ZC③-0	69,090円	ZCA③-0	103,640円	ZCB③-0	138,190円
		5,000万円	3,000万円	ZC④-0	84,830円	ZCA④-0	127,260円	ZCB④-0	169,670円
		1億円	5,000万円	ZC⑤-0	97,220円	ZCA⑤-0	145,850円	ZCB⑤-0	194,450円
3億円以上 4億円未満	3億円	3億円	1億円	ZD①-0	69,120円	ZDA①-0	103,690円	ZDB①-0	138,250円
		5億円	5億円	ZD②-0	90,030円	ZDA②-0	135,060円	ZDB②-0	180,080円
		1億円	1,000万円	ZD③-0	105,030円	ZDA③-0	157,530円	ZDB③-0	210,040円
4億円以上 5億円未満	3億円	1,000万円	1,000万円	ZD④-0	128,200円	ZDA④-0	192,280円	ZDB④-0	256,360円
		5,000万円	3,000万円	ZD⑤-0	146,920円	ZDA⑤-0	220,360円	ZDB⑤-0	293,790円
		1億円	5,000万円	ZE①-0	109,570円	ZEA①-0	164,350円	ZEB①-0	219,110円
5億円以上 6億円未満	3億円	1,000万円	1,000万円	ZE②-0	142,710円	ZEA②-0	214,060円	ZEB②-0	285,420円
		5,000万円	3,000万円	ZE③-0	166,450円	ZEA③-0	249,680円	ZEB③-0	332,910円
		1億円	5,000万円	ZE④-0	203,170円	ZEA④-0	304,750円	ZEB④-0	406,340円
6億円以上 7億円未満	3億円	1,000万円	1,000万円	ZE⑤-0	232,840円	ZEA⑤-0	349,250円	ZEB⑤-0	465,680円
		5,000万円	3,000万円	ZF①-0	138,040円	ZFA①-0	207,070円	ZFB①-0	276,110円
		1億円	5,000万円	ZF②-0	179,810円	ZFA②-0	269,710円	ZFB②-0	359,620円
7億円以上 8億円未満	3億円	1,000万円	1,000万円	ZF③-0	209,740円	ZFA③-0	314,590円	ZFB③-0	419,450円
		5,000万円	3,000万円	ZF④-0	256,000円	ZFA④-0	383,990円	ZFB④-0	511,990円
		1億円	5,000万円	ZF⑤-0	293,390円	ZFA⑤-0	440,070円	ZFB⑤-0	586,770円
8億円以上 9億円未満	3億円	1,000万円	1,000万円	ZG①-0	179,460円	ZGA①-0	269,210円	ZGB①-0	358,920円
		5,000万円	3,000万円	ZG②-0	233,750円	ZGA②-0	350,620円	ZGB②-0	467,510円
		1億円	5,000万円	ZG③-0	272,660円	ZGA③-0	408,970円	ZGB③-0	545,290円
9億円以上 10億円未満	3億円	1,000万円	1,000万円	ZG④-0	332,800円	ZGA④-0	499,200円	ZGB④-0	665,590円
		5,000万円	3,000万円	ZG⑤-0	381,410円	ZGA⑤-0	572,120円	ZGB⑤-0	762,810円
		1億円	5,000万円	ZH①-0	242,270円	ZHA①-0	363,420円	ZHB①-0	484,540円
10億円以上	3億円	1,000万円	1,000万円	ZH②-0	315,570円	ZHA②-0	473,340円	ZHB②-0	631,140円
		5,000万円	3,000万円	ZH③-0	368,070円	ZHA③-0	552,110円	ZHB③-0	736,140円
		1億円	5,000万円	ZH④-0	449,280円	ZHA④-0	673,920円	ZHB④-0	898,560円
10億円以上	3億円	1,000万円	1,000万円	ZH⑤-0	514,900円	ZHA⑤-0	772,350円	ZHB⑤-0	1,029,800円
		5,000万円	3,000万円	ZI①-0	304,060円	ZIA①-0	456,090円	ZIB①-0	608,100円
		1億円	5,000万円	ZI②-0	396,030円	ZIA②-0	594,060円	ZIB②-0	792,070円
10億円以上	3億円	1,000万円	1,000万円	ZI③-0	461,930円	ZIA③-0	692,900円	ZIB③-0	923,880円
		5,000万円	3,000万円	ZI④-0	563,850円	ZIA④-0	845,760円	ZIB④-0	1,127,670円
		1億円	5,000万円	ZI⑤-0	646,200円	ZIA⑤-0	969,280円	ZIB⑤-0	1,292,370円
10億円以上	3億円	1,000万円	1,000万円	ZJ①-0	355,730円	ZJA①-0	533,620円	ZJB①-0	711,490円
		5,000万円	3,000万円	ZJ②-0	463,370円	ZJA②-0	695,040円	ZJB②-0	926,740円
		1億円	5,000万円	ZJ③-0	540,460円	ZJA③-0	810,700円	ZJB③-0	1,080,930円
10億円以上	3億円	1,000万円	1,000万円	ZJ④-0	659,690円	ZJA④-0	989,550円	ZJB④-0	1,319,390円
		5,000万円	3,000万円	ZJ⑤-0	756,040円	ZJA⑤-0	1,134,080円	ZJB⑤-0	1,512,090円
		1億円	5,000万円	ZK①-0	398,440円	ZKA①-0	597,640円	ZKB①-0	796,870円
10億円以上	3億円	1,000万円	1,000万円	ZK②-0	518,970円	ZKA②-0	778,450円	ZKB②-0	1,037,950円
		5,000万円	3,000万円	ZK③-0	605,320円	ZKA③-0	907,990円	ZKB③-0	1,210,640円
		1億円	5,000万円	ZK④-0	738,860円	ZKA④-0	1,108,300円	ZKB④-0	1,477,710円
10億円以上	3億円	1,000万円	1,000万円	ZK⑤-0	846,770円	ZKA⑤-0	1,270,170円	ZKB⑤-0	1,693,530円
		5,000万円	3,000万円	ZL①-0	442,250円	ZLA①-0	663,390円	ZLB①-0	884,510円
		1億円	5,000万円	ZL②-0	576,070円	ZLA②-0	864,100円	ZLB②-0	1,152,110円
10億円以上	3億円	1,000万円	1,000万円	ZL③-0	671,910円	ZLA③-0	1,007,850円	ZLB③-0	1,343,810円
		5,000万円	3,000万円	ZL④-0	820,150円	ZLA④-0	1,230,200円	ZLB④-0	1,640,280円
		1億円	5,000万円	ZL⑤-0	939,930円	ZLA⑤-0	1,409,870円	ZLB⑤-0	1,879,840円
10億円以上	3億円	1,000万円	1,000万円	ZM①-0	486,490円	ZMA①-0	729,720円	ZMB①-0	972,980円
		5,000万円	3,000万円	ZM②-0	633,670円	ZMA②-0	950,500円	ZMB②-0	1,267,330円
		1億円	5,000万円	ZM③-0	739,090円	ZMA③-0	1,108,640円	ZMB③-0	1,478,180円
10億円以上	3億円	1,000万円	1,000万円	ZM④-0	902,150円	ZMA④-0	1,353,230円	ZMB④-0	1,804,310円
		5,000万円	3,000万円	ZM⑤-0	1,033,910円	ZMA⑤-0	1,550,870円	ZMB⑤-0	2,067,830円

※作業完成後の事故についてお支払いする保険金の額は対人賠償保険金額、対物賠償保険金額(特定財物保険金額)が保険期間中のそれぞれの限度額となります。※特定財物と特定財物以外の財物のお支払合計額は対物賠償保険金額が上限となります。

●対物賠償保険金額は5,000万円以上がおすすめ!

近年、精密機械などの増加に伴い、高額な賠償事故が発生しています。高額な差額分を自己負担する、などということがないように、対物賠償保険金額は5,000万円以上のコースに、ぜひご加入ください。

参考 過去の高額お支払例 ※これらは事例であり、実際の事故によってお支払保険金の額は異なります。

お支払い額 **1億2,096万円**

平成23年12月

電気工事を行った工場から工事ミスが原因で火災が発生。建物、設備、商品に被害を被った他、工場が休業し営業損失が発生したものを。



お支払い額 **1億円**

平成19年4月

電気工事作業中に切断する配線を間違え、近隣の機器を破損させ、さらには鉄道もストップさせた。



●自己負担額ありコースが廃止となります。

ご加入の型が「ZA①-5」「ZF④-5」など、末尾が「-5」の型が廃止となります。従来の自己負担額ありコースの場合、万が一1,000万円の損害事故(誤結線以外)を起こすと、50万円の自己負担額が発生していました。そういった契約パターンを廃止することにより、組合員の皆さまの補償をより万全に備える制度にリニューアルします。次に試算のとおり年間わずかな差額保険料でより充実した補償内容となります。

参考 「自己負担額ありコース」と「自己負担額なしコース」の保険料差額 (単位:円)

自己負担額ありコース	自己負担額なしコース	差額
ZA①-5	ZA①-0	+1,650(年間)
ZA⑤-5	ZA⑤-0	+1,900(年間)

自己負担額ありコース	自己負担額なしコース	差額
ZC①-5	ZC①-0	+6,990(年間)
ZC⑤-5	ZC⑤-0	+8,010(年間)

自己負担額ありコース	自己負担額なしコース	差額
ZH①-5	ZH①-0	+37,300(年間)
ZH⑤-5	ZH⑤-0	+39,990(年間)

自己負担額のないコースであっても、誤結線等による事故や、年2回以上の事故を起こした場合は損害賠償金を削減して保険金をお支払いするため、実質上の自己負担額が発生する場合があります。詳しくは4ページをご覧ください。